

Nougyou Nounon

## いしのまきNN通信



上品山山頂より望む石巻管内の風景

「いしのまきNN通信」は、石巻管内の農業農村整備事業に関連する活動を広くお知らせすることを目的に、年3回程度発行しています。掲載希望の情報等がありましたら計画調整班までご一報ください。今後ともよろしく申し上げます。



第15号の目次:

|                    |   |
|--------------------|---|
| ほ場整備の現場に鶴が舞い降りた    | 1 |
| 集落点検「いいところ探し!」を開催  | 2 |
| 水田魚道を設置            | 2 |
| 「膝詰めトーク」を開催        | 3 |
| 木材チップを活用した暗渠排水調査   | 3 |
| ポンプ機能診断に関する研修会を開催  | 3 |
| H20年度からの受託調査を妥当と判断 | 4 |
| H19年度石巻管内の農地集積状況   | 4 |
| 東部地方振興事務所に再編       | 4 |

## ほ場整備の現場（大川地区）に鶴が舞い降りた！ ～絶滅危惧種「ソデグロヅル」～

**ほ**場整備事業が行われている石巻市（旧河北町）の大川地区（A = 413ha）の田んぼに、昨年11月にソデグロヅルが舞い降りました。ソデグロヅルはシベリア北部で繁殖し、インド北部や中国南部に越冬する鳥で、国際自然保護連合が絶滅危惧種に指定しており、世界でも2,500羽ほどしか棲息していないといわれる極めて希少な動物です。

ソデグロヅルは、11月から3月まで大川地区に留まっていたことが確認されました。当事務所の職員は、田んぼの有する多面的な機能を再認識するとともに、環境に配慮したほ場整備事業の推進に向け決意を新たにしました。



雪中のソデグロヅル



ほ場整備の現場に現れました

### 豆知識～ソデグロヅルの生態～

- ・ツル目ツル科に分類される鳥類の一種。全長は約140cmで、浅い沼の湿地や湖岸の葦原等で繁殖するとされ、繁殖期は4月から8月。
- ・シベリアで繁殖し、インドや通極の揚子江下流で越冬する。日本へはまれな冬鳥として渡来する。

担当：農地整備第二班

## 集落点検「いいとこ探し！」を開催

東松島市の上福田地区、西矢本地区において、地域住民参加の下、集落点検「いいとこ探し」を行いました。両地区とも、本年度手づくりプラン策定委員会を設置し、ほ場整備事業を契機とした地域の活性化の方策について、活発な議論を行っています。今回の集落点検で、地域に眠る「お宝」の発見・再確認を行い、改めて集落の魅力を皆で確認しました。

### 上福田地区：「いいとこ探しat上福田」(2月17日開催)

集落の有識者からの解説を聞きながら、地区の良いところを皆で歩いて回りました。見学場所は、白山神社、鞍坪排水機場、潜穴、正和4年の板碑などで、近くにありながら普段はなかなか見る機会のないものばかりでした。

昼食時には、地域のお母さん方から、上福田の食材を利用した郷土料理が振舞われました。これは、県内の農家レストランを何度が視察して、「自分達でもできる」との思いから、仮にレストランを開いた場合のメニューとして試作したものです。

最後に、昼食後、集落点検の際に撮影した写真をプリンターで打ち出し、それを集落の図面にはり付け、集落点検マップを作成しました。

### 西矢本地区：「いいとこ探しat西矢本」(3月1日開催)

地域の見所について、東松島市の学芸員佐藤氏の解説を聞きながら、約4.5kmを皆で歩いて回りました。見学場所は、鹿妻穴尻、鹿石神社、矢本横穴墓群、逆松等で、歴史や由緒あるものが数多く含まれていました。

集落点検終了後には、集会所において東松島市指定史跡「矢本横穴墓群」に関する詳しい説明を佐藤氏から受けました。また、昼食として、おにぎりど地域のお母さん手づくりの味噌汁が振舞われました。

昼食後、集落点検の際に撮影した写真を西矢本地区の図面にはり付け、集落点検マップを作成しました。

担当：計画調整班



集落点検マップ作り(上福田)



郷土料理のお振舞い(上福田)



矢本横穴墓群の見学(西矢本)



集合写真(西矢本)



魚道設置作業の様子



完成した魚道

## 水田魚道を設置～真野大谷地2期地区～

3月3日、ほ場整備事業が実施されている真野大谷地2期地区(A=91.3ha)において、地元農家、稲井土地改良区、工事施工業者と合わせて、総勢12名で水田魚道の設置を行いました。この作業は、同地区ではメダカを含む数多くの魚類の棲息が確認されていることから、事業に伴う環境配慮計画において実施が予定されていたものです。

使用した魚道は、ポリエチレン製の電線保護管を半割したものに、防水材と固定用クサビを用い、木板から作成した三角越流堰を固定したものです。

作業は、魚道を設置する場所をスコップで掘り、魚道を備え付け、最後に通水試験を行いました。全部で1時間程度で作業を終了し、低コストで魚道を設置することができました。

本作業により、地域の魚類の産卵場所が確保され、工事後も魚の棲む環境を維持することが可能となります。今年の田植え後に、魚道を通して多くの魚が田んぼに遡上してくるのが今から楽しみです。

担当：農村整備班



## 県農村振興課と「膝詰めトーク」を開催 ～鹿又、広淵沼地区～

2月7日、鹿又・広淵沼地区の基盤整備事業推進に係る意見交換会（膝詰めトーク）が、県農村整備課高橋課長をはじめ関係者が出席の下、開催されました。両地区は、H22年度のは場整備事業の新規採択を希望しており、地域の課題やこれまでの取組状況について、地元農家や関係機関からの生の声が聞かれました。

会議は、まず、河南総合支所、JAいしのまき、河南矢本土土地改良区、推進委員会委員長からこれまでの取組みについて説明があり、その後意見交換を行いました。意見交換では、これからの地域の担い手や転作への取組み、地域活性化への方策等について活発な議論が行われました。

担当：計画調整班



膝詰めトークの様子



疎水材上端の沈下量調査

## 「木材チップ」を活用した暗渠排水の経年変化を調査 ～河南1期地区～

1月30日、石巻市（旧河南町）の河南1期地区において、河南矢本土土地改良区及び石巻地区森林組合の協力の下、林業振興部とともに、は場整備事業における「木材チップ」を活用した暗渠排水施行後の経年変化調査を行いました。

これは、農業と林業の連携による地域資源の有効活用と地産地消の取組みを推進するため、平成10年度に暗渠排水の疎水材として「木材チップ」を利用しましたが、その後の経年変化による排水機能の持続性が不明であることから、疎水材の劣化等の進行状況を確認するために実施したものです。

調査項目は、疎水材上端の沈下量、疎水材部の浸透性能、吸水管内の堆泥量、各疎水材の性状、の4項目でした。

結果は、切削チップは、もみ殻と比較し、疎水材上端の沈下が少なく、有意差（ $P = 5\%$ ）が認められました。一方、浸透性能については、有意差は認められず、管内堆泥量は全ての吸水管で微量でした。また、疎水材部の断面確保という観点から、もみ殻に比較し、疎水材としての切削チップの優位性が認められましたが、破碎チップと切削チップとの差は認められませんでした。



疎水材部の浸透性能調査

## ポンプ機能診断に関する研修会を開催 ～浜市排水機場～

1月15日、東松島市（旧鳴瀬町）牛網地区の「浜市排水機場」において現地研修会が行われ、市役所職員、管内土地改良区担当者、他管内のNN部職員等を含む約25名が出席しました。現在、同機場において、第1号ポンプ改修工事が行われており、ポンプの解体を行うことから、農業水利施設ストックマネジメントの一環として、その機会を利用してポンプ機能診断のための2次調査について研修会を行ったものです。

研修会は、まず、設備を担当する業者から、ポンプの2次調査の点検内容、評価の方法について説明を受けた後、質疑応答を行いました。農業農村整備担当者でもなかなか見る機会のないポンプの内部を具体的に示しながらの説明があり、大変貴重な研修となりました。

今回の研修会が、関係者のポンプ機能診断に関する技術力向上に繋がるものと期待されます。

担当：農村整備班

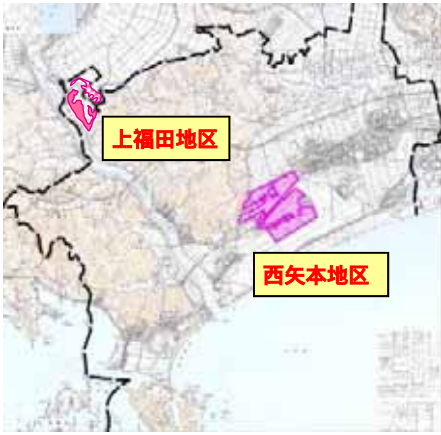


研修会の様子1



研修会の様子2

## H20年度からの県による受託調査は妥当との判断～西矢本、上福田地区～



東松島市の西矢本地区及び上福田地区においては、ほ場整備事業の採択に向けて地元の推進組織が中心となって活動をしており、昨年調査同意約100%を取得しました。先日行われた県の計画検討委員会における審議の結果、H20年度からの県の受託調査地区として「妥当」との検討結果が示されました。

両地区とも「みやぎの生き生き地域づくり支援事業」を導入するなど、地域の活性化に向けての取組みが活発であることから、今後とも引き続き積極的に活動を支援していきたいと考えています。

担当：計画調整班

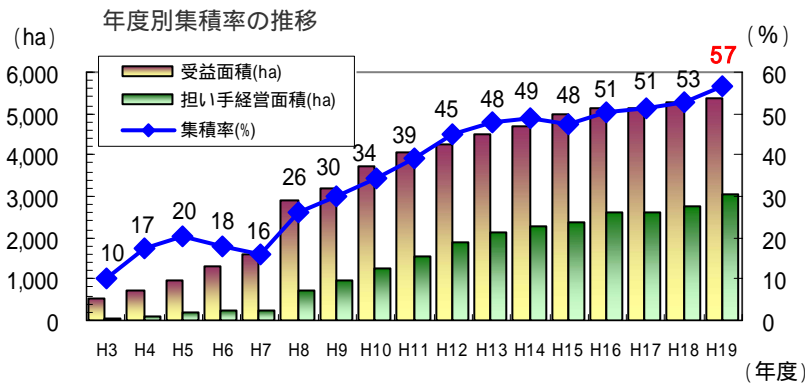
平成20年度調査事業開始地区

| 地区名   | 面積    | 耕作者数 | 位置         |
|-------|-------|------|------------|
| 西矢本地区 | 228ha | 264人 | 東松島市(旧矢本町) |
| 上福田地区 | 44ha  | 55人  | 東松島市(旧鳴瀬町) |

## H19年度石巻管内の農地集積状況

本年度も、石巻管内の農地集積を促進するため、市をはじめ改良区・JA等を交えた「農地集積戦略会議」を3回にわたり開催しました。その結果、本年度の石巻管内農地集積率は、前年度の53%から57%と4%上昇し、目標を達成しました。また、石巻管内では10地区が目標を達成するとともに、重点地区のうち大川地区においては、前年の31.4%から本年度は43.8%に上昇するなどの成果が見られました。

担当：計画調整班



めだか のすめる たんぼ づくりをめざして

### 宮城県石巻地方振興事務所 農業農村整備部

〒986-0812 石巻市東中里1丁目4-32

Tel 0225(95)1411 (内)478

Fax 0225(96)4880

E-mail iss-s-kt@pref.miyagi.jp

URL http://www.pref.miyagi.jp/issgsin/nn

編集・発行 (創刊平成15年2月)

宮城県石巻地方振興事務所 農業農村整備部

計画調整班 農村活性化担当

## 4月から東部地方振興事務所に再編されます

平成20年4月から、専門性と効率性を高めた組織体制にするため、県北地域の地方振興事務所を再編し、一部の業務が集約されることとなります。

石巻・登米圏域は、東部地方振興事務所(所在地:石巻市)と登米地域事務所(所在地:登米市)に再編されます。農業農村整備部については、計画調整業務や用地業務等が石巻に集約されるなどの変更がありますので、御理解と御協力をお願いします。

詳細は、当事務所までお問合せ下さい。

現在

- ・石巻地方振興事務所
- ・登米地方振興事務所

再編後

- ・東部地方振興事務所
- ・東部地方振興事務所登米地域事務所